

バンカーショット完全解説



うまくいくかどうかは...
「打つ前にすでに決まっている」

コースに出たら本当に考えるべきこと

(1) ボールの状況判断と次のショット（さらにその次のショットのための）をどこに運ぶか？

(2) クラブヘッドの動かし方

(スイング軌道だけでなく、リーディングエッジの上下方向の動き：レーン)

バンカーショットの上手さ・質は、ショットの精度に比例します。

実際にボールをうたないので「ダフれば良い」と表現することが多いが...

本当は「ダフれば良い」のではなく...ヘッドを意識的に落とすべき場所に落とせるかどうか重要です。

(ただ、多くのひとは普通に打つとダフるので、そのイメージで打つとバンカーが上手に見えるケースがある)

ショットの精度にバンカーショットの上手さが比例する理由は

ヘッドを落とすべき場所に落とす必要があり、

さらにインパクト後「砂をどれくらい厚く、あるいは薄くとるか」をコントロールする必要があるので。

今日は知識的な話をしますが、

バンカーショットの上手さは、意識して「バンカーにいた時間」に比例します。

焦らず、取り組んでください。

☆バンカーショットの基本公式（本質的な話）☆

アウトサイドイン？とか、足を埋める？とか、フェースの開閉は全て応用の話です。

フェアウェイの振り幅と距離の関係

・・・・・・・・・・フェアウェイから打った場合・・・・・・・・・・		
10ヤード	30ヤード	60ヤード
↓	↓	↓
3ヤード程度	10～15ヤード	20～30ヤード
・・・・・・・・・・バンカーから打った場合・・・・・・・・・・		

バンカーショットの振り幅と距離の関係

（ボールの手前にSWのクラブヘッドを3cm手前に落とせた場合）

エクспロージョン（爆発）ショットと言います。

※ボールを直接打つわけではないので、「フェアウェイの場合の飛ぶべき距離の」

1/2 または1/3程度しかボールが飛ばない。（バンカーショットの原則）と覚えてください。

バンカーショットは距離に対して

「勇気をもって意識的に大きくスイングする必要があります」

ボールの手前5cm以上（だいぶ手前を打つ）

→ボールがほとんど飛ばない&浮かない

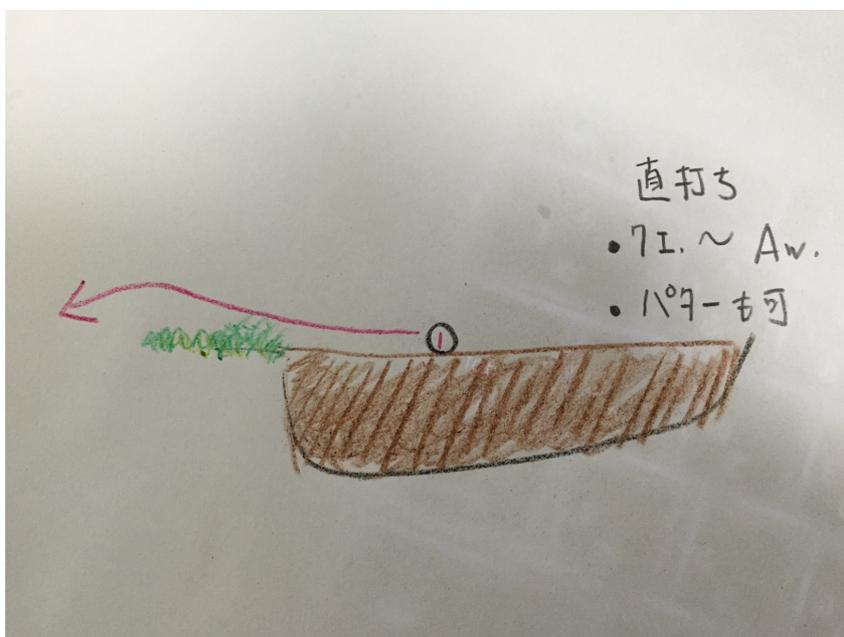
もしくは砂に弾かれてトップする（ミスのパターンです）

ボールに直接あたるor 1cm程度手前にクラブが入る

→ほぼフェアウェイで打った場合とほぼ同じ距離がとぶ

（なので、ホームランになってグリーンオーバーしてしまいます）

ケース 1 土手が低い (ほぼない場合)



エクスプロージョンを選択するよりは、

「ダフらないことを心がけて」直接打ったほうが簡単です。

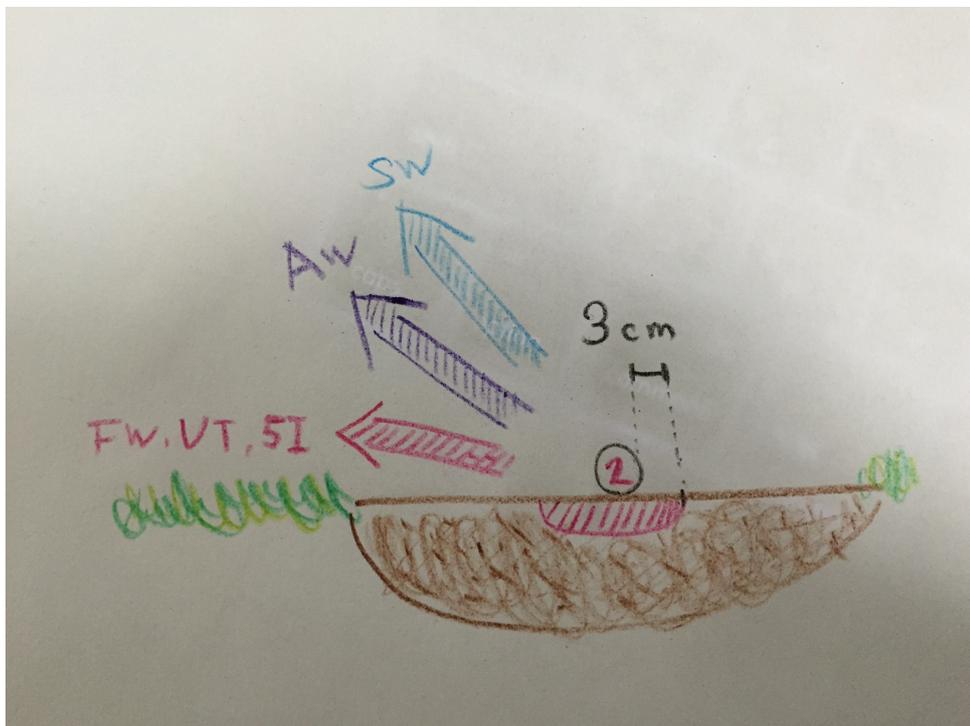
場合によってはパターで転がすこともOK

クラブを短く持って「トップ」させるつもりで打つとダフリにくい。

(小さいスイングをイメージしているので、
ここでダフるとボールが全然飛ばなくなります)

検索ワード 「日本プロ 合田洋」 バンカーからパターで打って優勝

ケース 2 フェアウェイバンカー (距離を出す)



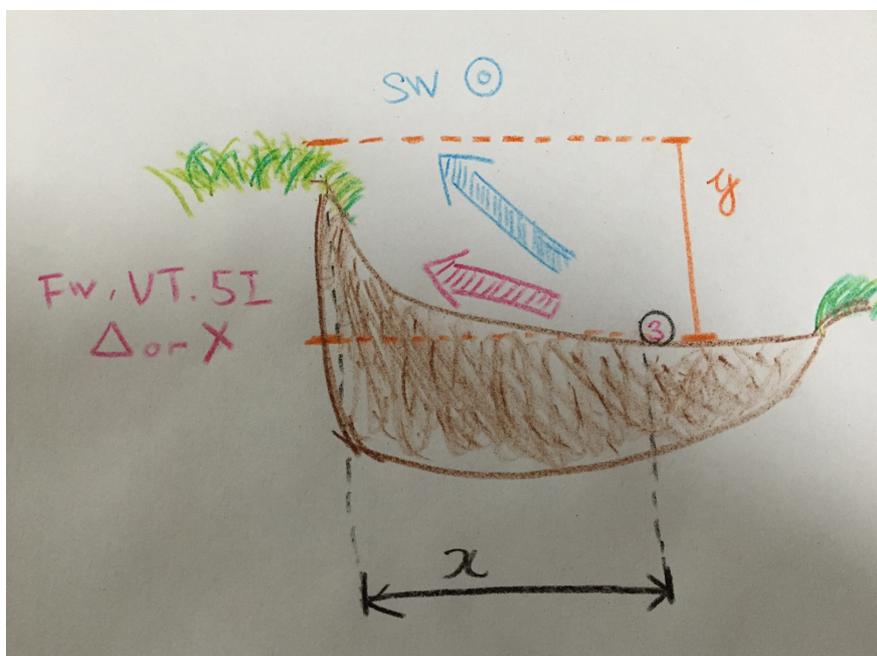
バンカー外で足でクラブを踏み、「弾道をイメージ」 (※現場で行います)
パー4やパー5のティーショットがバンカーにはいり、
土手に当てて、ゲームオーバーにならないように
弾道のイメージを明確にすることが大切。

「出ない」と判断した場合は、SWでしっかり出すことに意識を切り替える。

検索ワード 「全英オープン ポットバンカー」



ケース 3 ボールの状況判断と弾道の事前確認



$X > Y$ (壁が低い) 比較的易しい: セカンドショットなら脱出して距離を稼ぐ
グリーン周りのバンカーならピンを狙っても良い状況

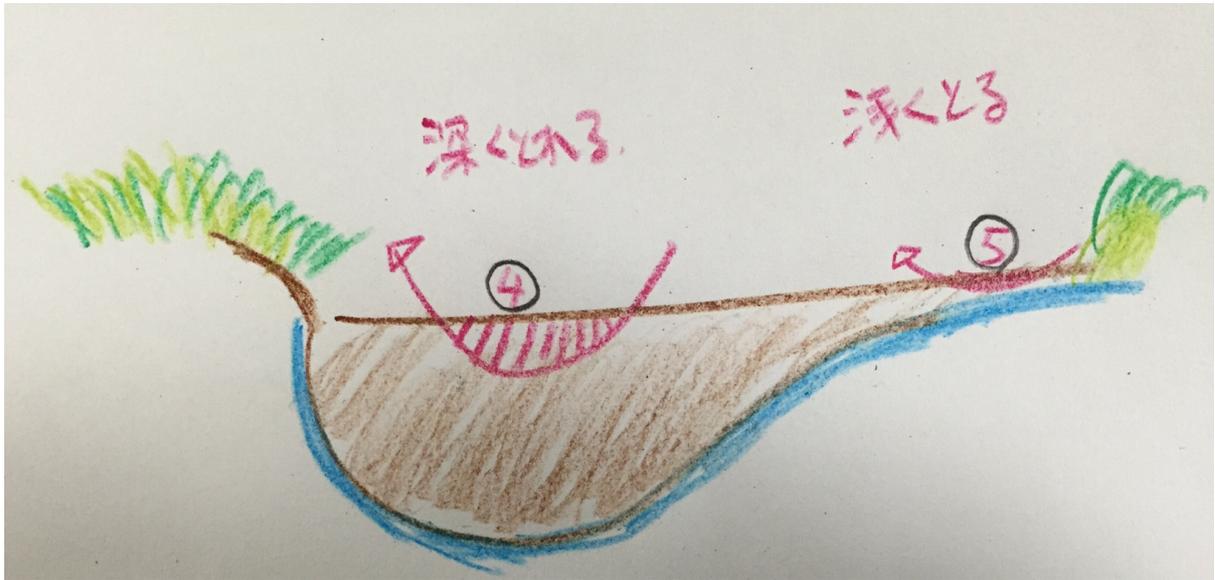
$X = Y$ 45度以上の打ちだし角が必要なので、
「練習時に何番のクラブまで行けるか試しておく」
・ 1 mの距離で 1 m以上高く打てるかどうか??

$X < Y$ (壁が近くて高い状況) 難易度がかなり高い
場合によっては横または後ろに打つことを検討

注意: 平坦でも靴跡やボールの後ろに小山があると弾道が狂う (低くなりがち)
バンカーは綺麗にしましょう...靴跡からは正確なバンカーショットができないの
で...

「池田勇太 怒る バンカー」で検索 動画 マイナビ2013

ケース 4 バンカーの砂の量に注意する



バンカーの下は

砂が流れ出さないように「ビニールシート」のようなものが下に敷き詰められています。

まれに、砂の量が減って、下地が露出している場合があります。

↓

そのときも弾道が低くなる&ヘッドが弾かれてホームランになりやすくなる

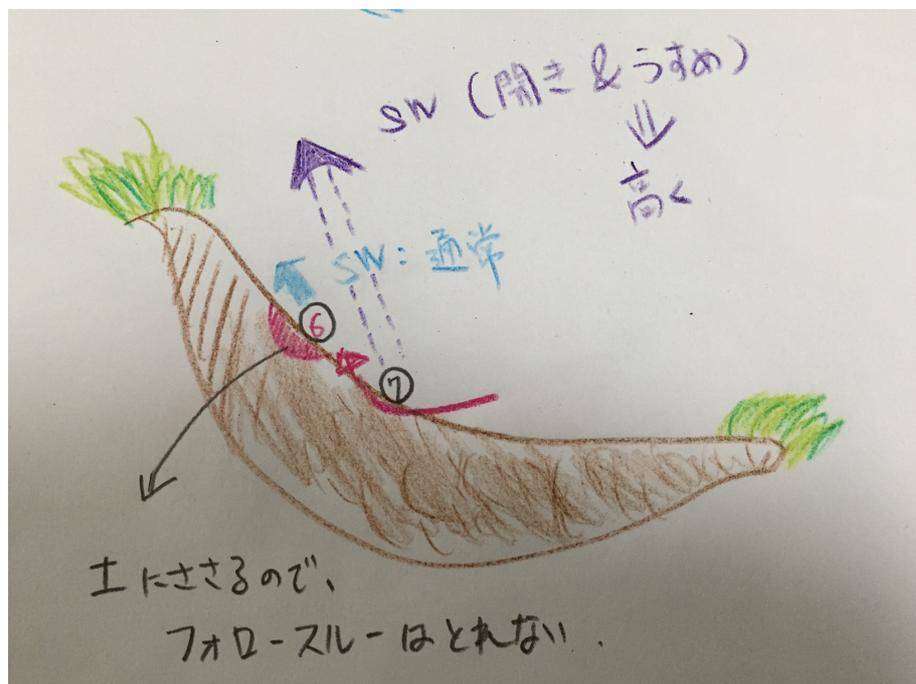
フェースを開きすぎないように注意

補足説明：雨の日のバンカー

砂がしまっているのので、SWよりもバウンスが少ないAWのほうが脱出しやすい場合がある。

(この辺は経験が必要なので、知識として知っておいてください)

ケース 5 左足上がりの場合



基本的にはいつもの打ち方で大丈夫です（ボール番号6）

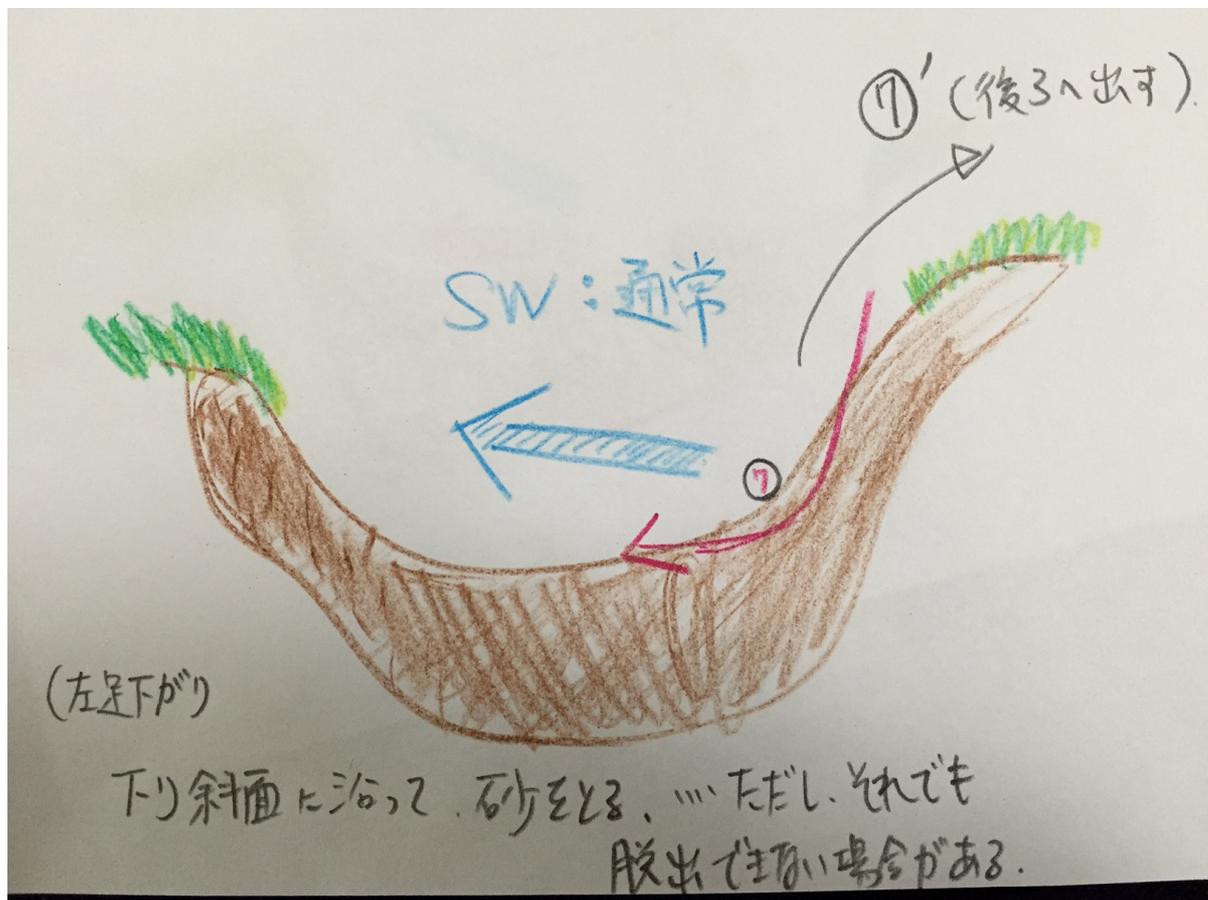
ただし、フォロースルーは大きく取れない。

ボール番号7のように斜面にそって砂を取ると

「通常よりも高くあがる」がその分だけ前へ飛ぶ距離が少なくなる。

やはり勇気をもって大きめに振る必要がある状況です。

ケース 6 左足下りの場合 または ボールの後ろだけ高くなっているとき
(靴跡の中など)



ボールの弾道が「想像以上に低くなるため」

土手を越すことができるか、よく考える。場合によっては横か後ろに出す。

そもそも「非常に打ちにくいライ」...バンカーでなくても難しいですよね？

ボールの手前3cmを狙っても、それよりも手前にヘッドが落ちやすいので、
難易度が一番高いです。

ボールが脱出できても、スピンの効かないので、ゴロゴロと転がる。

(目玉のショットのときもスピンがかかりません)